

集まれば無限大・・・

あつまれ！けんちく女子

～これまでの歩みと、新しいひらめき。建築の未来を繋ぐ交流会～

実施報告書

【主催】一般社団法人 大阪府建築士事務所協会

【共催】一般社団法人 日本建築協会

公益社団法人 日本建築家協会近畿支部

公益社団法人 大阪府建築士会

一般社団法人 日本建築学会近畿支部

開催の背景と目的

一つの建物が完成するまでには、設計者だけでなく、施工者、デザイナー、CAD/BIM オペレーター、インテリアコーディネーターなど、実に多くの専門家が関わっています。それぞれの持ち場で情熱を注ぐ「けんちく女子」たちがいるからこそ、私たちの暮らしを支える建築は生み出されています。本イベントは、職種や世代の垣根を越えて、建物づくりに携わるすべての女性が集う場を創出するために開催されました。

開会にあたり、主催である一般社団法人大阪府建築士事務所協会 女性部会 部会長の小鮎より、次のようなご挨拶と想いをお伝えしました。

『本日は多数の皆様にお集まりいただき嬉しく思います。長らく開催を見合わせておりましたが、こうして本会を再開できることを心から喜ばしく感じております。建築の仕事は大変な局面もありますが、本来は「とても面白い仕事」です。しかし日々の忙しさの中で、その面白さを言葉にし、誰かと共有する機会は意外と少ないのではないのでしょうか。今日、多様な「けんちく女子」が集まることで、現場のリアルな話から人生の話題まで、実りある対話が生まれることを私自身とても楽しみにしています。本日はぜひこの場を「小さな実験場」として、世代や立場を軽やかに超え、自由に語り合ってください。その対話から新しい考えや可能性を見つけられる時間になればと願っています。ここに集まった皆様一人ひとりが、これからの建築をもっと面白く、豊かにしていく大切な仲間です。この会が団体の枠を超えて繋がり続ける場として、未来へ大きく広がっていくことを心から期待しております。』
こうした思いを背景に、本イベントは大きく3つの目的を掲げています。

1. 相互理解で、輪を広げる。—職種を越えた“横”のつながり—

接点の少ない他職種の仕事内容や悩みを知ることでお互いの理解を深め、新たな協力関係を築きます。「人材の離職」という業界課題に対しても率直な意見を交わし合い、私たち自身が建築の面白さや可能性を再発見することを目指します。

2. 未来へつなぐ、想いの継承。—世代を越えた“縦”のつながり—

第一線で活躍するベテランの豊かな経験や知恵は、キャリアに悩む若手や業界を目指す学生にとって未来を照らす道しるべとなります。若手ならではの新鮮な疑問を投げかけることで活発な対話を生み、魅力的な働き方を次世代へつなぎます。

3. 社会へ発信する、私たちの姿。—建築業界の“今”と“未来”を伝える—

多様な女性たちが生き生きと手を取り合い、一つの目標に向かって進むリアルな姿を広く社会へ発信します。それが業界全体のイメージアップに繋がり、未来の「けんちく女子」たちが夢を抱く温かいきっかけとなることを期待しています。

このように、業界の最前線で奮闘する女性たちが一堂に会し、これまでの歩みを労い、これからの未来を共に描き出すという熱い想いが込められ、本イベントは温かい雰囲気の中で幕を開けました。

(1) 開催概要

開催日時：令和8年3月14日（土）

第1部（交流会）：13：30～16：45

第2部（懇親会）：17：30～19：30

会場：第1部：マイドームおおさか 8F 第1・2会議室

第2部：Sheva（シェバ）

主催：一般社団法人 大阪府建築士事務所協会

共催：一般社団法人 日本建築協会

公益社団法人 日本建築家協会近畿支部

公益社団法人 大阪府建築士会

一般社団法人 日本建築学会近畿支部

後援：大阪府・大阪市

参加人数：第1部：72名

第2部：50名

(2) 実施内容・プログラム

1. 第1部：交流会

・13:40 Opening & Icebreak

“私の得意技”をテーマに、参加者全員が順番に自己紹介を行い、会場は一気に和やかな雰囲気になりました。

・14:10 Session 1（世代別 VISION TALK）

ベテラン、中堅、若手からなる5名のパネリストにご登壇いただき、「夢と現実、今と将来」と題してキャリアにおける課題について、率直なトークセッションが行われました。

・15:00 Session 2（CROSS Generation MENTORING）

世代や職種をミックスしたグループに分かれ、異世代交流ワークショップを実施しました。トークセッションでの気づきをもとに語り合い、付箋を使ってそれぞれの想いや意見を模造紙に可視化していきました。

・15:55 Session 3（ACTION PLAN Sheet Time）

各グループでまとめた意見や今後のアクションプランを全体に向けて発表し、多様な視点を全員で共有しました。

2. 第2部：懇親会

場所を移して行われた懇親会では、「共通点探しゲーム」を実施し、チーム内での親近感をさらに深めながら楽しい交流の時間を過ごしました。

(3) Session 1（世代別 VISION TALK）登壇者紹介

パネリストの皆様からは、それぞれの歩みと未来へのビジョンについて、大変貴重なお話を伺いました。

1. パネリスト (ベテラン世代)



石貫 方子 氏 (パナソニックハウジングソリューションズ株式会社
デザインセンター 部長)

きっかけとこれまでの歩み：九州出身で、「女に教育はいらん」という父親の猛反対や、実家の現場で「女が入ると火事になる」と拒否されるなどの厳しい男尊女卑の環境を経験しながらも、デザインの道へ進学しました。奨学金を返すために、総合職としてメーカーに就職しました。

これからのビジョン：就職活動では「女性は補助」と言われ苦労しましたが、社内で「建築をやりたい」とアピールし続け、設計の仕事も任されるようになりました。良い意味でも悪い意味でも女性扱いされない環境で海外出張なども経験してキャリアを重ね、間もなく定年を迎えます。定年後は、新しい活動や他の職業を模索中とのことです。



所 千夏 氏 (一級建築士事務所アトリエCK 代表)

きっかけとこれまでの歩み：女子校出身で、将来的に1人でもできる「手に職」をつけたいと考え、工学系・建築の道へ進みました。大学卒業後は大手組織設計事務所(安井建築設計事務所)に就職し、大規模な建築プロジェクトに携わりました。

独立後の気づきとビジョン：10年ほどで独立しましたが、独立後は木造建築など組織時代とは全く規模も勝手も違う仕事に直面し、先輩に教を請いながら現場でゼロから勉強したそうです。一方で、組織時代に培った「多くの人(大工さんや設備屋さんなど)をまとめる力」は、今の仕事でも大いに活かしていると振り返りました。



中嶋 節子 氏 (京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授)

きっかけとこれまでの歩み：高校時代に物づくりに興味を持ち、先生の勧めで建築学科へ進学しました。「物を作るなら歴史をきちんと押さえるべき」と考え、歴史の研究室を選んだことがきっかけで研究者の道へ進みました。研究者であっても、文化財の修理や行政の委員など、社会と関わりながら多様な専門家と協働できることが建築の大きな魅力だと語りました。

これからのビジョン：定年まであと10年ほどとなり、今後の展開として、これまでの専門性を活かした歴史的建造物の継承・活用に関わることや、業界で不足している設備系の仕事など、新しいことにもユニットのな緩い繋がりで挑戦していきたいと意欲を見せました。

2. パネリスト (中堅世代)



高島 純子 氏 (イロタス株式会社 二級建築士事務所 代表)

きっかけとこれまでの歩み：母親の「好きなことを仕事に」という言葉や、高校・大学の先生からの「経験は武器になる」という教えを受け、学生時代に多くの建築を体感して住宅設計に興味を持ちました。就職氷河期にハウスメーカーに入社し、営業や設計管理職を

経験しました。

独立とアドバイス：恵まれた環境でしたが、産休・育休明けに自分の好きな仕事ができずやりがいを感じられなくなり、自分の時間を有意義に使うために独立を決意しました。現在は子育てや介護と両立しながら設計事務所を経営しており、後進に向けて「企業に在る間に様々なものを盗んで身につけ、将来は時間や仕事の自由度が高い独立をおすすめしたい」とアドバイスを送りました。

3. パネリスト（若手世代）



中村 瑞恵 氏（株式会社 AR 設計 所員）

きっかけとこれまでの歩み：手先を動かして物をつくるのが好きで、デザイン系の建築学科へ進学しました。一度はオフィス家具メーカーに就職し空間デザインなどに携わりましたが、「やはり建築の意匠設計がしたい」という強い思いから転職しました。

現状とビジョン：業界経験はまだ5年未満で、まずは様々な建物を知るために現在の事務所に入所しました。新築と改修（リフォーム）の図面の書き方や見なければならぬことの違いに難しさを感じており、まずは新築をしっかりと勉強してから、昔から好きだった伝統建築など、今後のキャリアの方向性を考えていきたいと率直な悩みを語りました。

4. ファシリテーター



清吾 幸子 氏（有限会社プレンド建築設計室 代表取締役）

きっかけとこれまでの歩み：進路に迷った末に短大の建築学科へ進み、ショールームのスタッフなどを経て店舗内装会社に入社しました。しかし、「女性で若くて知識がない」という理由で社長に解雇されたそうです。その悔しさをバネに猛勉強して一級建築士を取得し、アルバイト先の設計事務所で任された住宅のプランが実際に建ったことで、設計の仕事の面白さにのめり込みました。

若手へのメッセージ：その後独立を果たしましたが、最初は現場で大工さんに怒られるなど、土足で業界に飛び込んだゆえの洗礼をたくさん受けました。しかし、その「悔しい」という気持ちが今の自分の糧になっていると語り、「くじけそうになった時は、悔しいから頑張ろうという気持ちを持ってほしい」と参加者に力強くエールを送りました。

（4）Session 2（CROSS Generation MENTORING）& Session 3（ACTION PLAN Sheet Time）

1. ワークショップでの対話とアクションプラン 多種多様なバックグラウンドを持つ参加者たちが対話した結果、非常に多くの前向きな意見が飛び交いました。

- ・子育てや介護、就職氷河期といった転機を迎えつつも、女性は「新しい楽しみを見つける力」が強く、現在の仕事を前向きに楽しんでいることがわかりました。
- ・キャビンアテンダントやパティシエを目指していた方、社会保険労務士やエステの仕事に就いていた方など、異業種からの転身組も多く、過去の経験は決して無駄にならず、現在の建築の仕事に活かされている（掛け合わせの力）ことが確認されました。

- ・女性ならではの「相手の求める言葉を読み解く力」や、現場の空気を和ませる「コミュニケーション能力」が、業界で高く評価されているとの共感が集まりました。
- ・AI やBIM といった新しい技術に対しても、意欲的に学び続ける姿勢が多くのテーブルで見られました。



(テーブルディスカッション)



(テーブルごと発表)

2. これからの建築業界への期待

設計や施工、メーカー、さらには異業種から飛び込んできた方まで、本当に多様な「けんちく女子」たちが集まりました。そこで交わされたたくさんの対話から、これからの建築業界をより良くしていくためのヒントが見えてきました。現場のリアルな声と、課題解決に向けた私たちの思いをお伝えいたします。

①現場の声から見た、3つの「見えない壁」

仕事のやりがいを語り合う一方で、各世代が抱える切実な悩みも浮き彫りになりました。これらは個人の頑張りだけでは乗り越えられない、業界全体で考えるべき壁です。

●若手世代の壁

実務経験が浅いことへの不安と、AI やデジタル技術といった新しい波にどう対応していくかという戸惑い。

●中堅世代の壁

子育てや介護といったライフイベントに直面し、これまでのペースで働き続けられず、やりがいのある仕事を諦めそうになる葛藤。

●ベテラン世代の壁

男性中心の厳しい環境を生き抜いてきたものの、自分たちが培ってきた技術や「建築への思い」を、次の世代にどうやって引き継げばいいのかという孤立感。

②壁を乗り越える鍵は、女性たちが持つ「しなやかな力」

こうした課題を解決し、これからの建築業界を元気にしていくためには、女性たちが持つ特性や経験を「業界の大切な財産」として活かしていくことが必要だとわかりました。

●相手の思いをくみ取る「対話力」

お客様が言葉にできない本当の願いを引き出したり、現場のピリピリした空気を和ませたりする力は、良い建物づくりに欠かせません。

●臨機応変な「課題解決力」

仕事と家庭、子育てなどを日々同時にこなす経験は、複雑な現場での優先順位づけや、突然のトラブルへの柔軟な対応力につながっています。

- **違う経験を活かす「掛け合わせの力」**

他業界から転職してきた方々の新鮮な視点が、これまでの建築業界にはなかった新しいアイデアやサービスを生み出します。

③ **だれもが長く働き続けられる業界を目指して**

こうした素晴らしい力を個人のもので終わらせず、業界全体に広げていくために、私たちは以下の取り組みを進めていきたいと考えています。

1. **世代を超えて教え合う仕組みづくり**

ベテランの「長年の知恵」と、若手の「新しいデジタル感覚」を互いに教え合えるような、温かい関係性を作ります。

2. **職種を越えたつながりの場づくり**

会社や職種の枠を取り払い、何かあったときに気軽に相談し、助け合える横のネットワークを育てます。

3. **いろんな働き方の応援**

ライフスタイルに合わせて、独立や副業など、柔軟に働く時間や場所を選べる仕組みを支援します。

4. **業界全体の意識づくり**

これは女性だけの問題ではなく、男性社員や経営者も含め、多様な人が生き生きと働き続けられる環境を作ることが、業界の未来を守る投資になります。

(5) **参加者アンケート結果と成果**

素晴らしい反響を得ることができました。

1. **参加者の属性**

20代から70代まで幅広い年代の方にご参加いただき、特に40代、50代の参加が多く見られました。職種も、設計事務所やゼネコンのほか、インテリアコーディネーター、教育関係、塗装業、さらには警備業や花屋など、多岐にわたりました。

2. **満足度と次回の参加意向**

イベントの満足度については、回答者の100%が「非常に満足」または「やや満足」と回答してくださいました。今後このようなイベントがあれば参加したいかという問いにも、全員が肯定的なお答えを寄せてくださっています。

3. **参加者の生の声**

アンケートには、単なる感想を超えた熱いメッセージが多数寄せられ、本イベントが参加者にとって単なる交流の場以上の「意識を変える場」となったことがうかがえます。参加者の声を3つのテーマに分けてご紹介します。

【多様な出会いと視野の広がり】

- ・ 普段出会うことのない建築業界にいる女性との出会いや、先輩方の苦労や今に至るまでのお話を聞く機会はとってとても貴重ななと思いました。
- ・ いろんな世代のいろんな分野の方と話すことで、視野が広がりました。そして、みなさんの人生のドラマを見ているようでした。
- ・ 同業の女性と話せる機会が少ないため、情報交換のいい場になった。

【共感と安心感（横のつながり）】

- ・ 同じ経験をしてる人が居ると思って心強かった。
- ・ 他の方々の悩みや考えを聞けてとてもよかった。
- ・ 仕事を続けて行く上で、心に響く言葉が幾つかありました。

【未来への活力と挑戦（縦のつながり）】

- ・ どのような背景でこれまで建築をしてきたかなど沢山お話を聞けて、自分の将来これからもっと沢山挑戦しよう！と思いました。
- ・ 頑張ってこられた方の話がきけて非常に刺激と活力をもらえた。
- ・ たくさんの方の人生や考え方に触れることが出来て、この先をより深く考えるきっかけになりました。
- ・ 自分自身の意識改革になりました。建築は女子に向いていると思っています。

「あつまれけんちく女子」 参加者アンケート・レポート



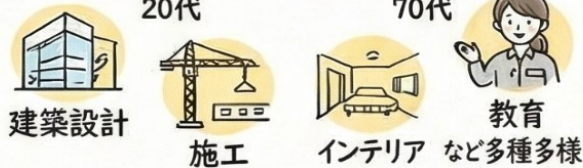
圧倒的な満足度と 交流の広がり

100%



/非常に満足/
やや満足 100%

世代を超えた集い!
20代～70代まで



次回への参加意欲も 非常に高い!

ほぼ全てが『非常にそう思う』または『ややそう思う』

参加者の心に響いた 「つながり」と「気づき」



「異世代メンタリング」が 最大のハイライト

異なる世代の経験から、
自分のキャリアを振り返る貴重な機会

“**「刺激と元気をもらえた」**”

→ 視野が広がった、
建築が好きだと再確認!

“**日常では出会えない
「業界の仲間」との出会い**”



同業の女性と共通の悩みや
夢を共有できる場

(6) 運営面での反省点・今後の課題

1. タイムマネジメントとプログラムの工夫

ワークショップで付箋をまとめて全体を把握する時間（10分程度は欲しい）や、各テーブルの発表時間（2分間）が短すぎたというお声をいただきました。

また、お題なしで自由に歓談できるフリートークの時間をプログラム内に設けてほしいというご要望もありました。

2. 会場環境の配慮

テーブル同士の間隔が少し近かったため、他のグループの声に遮られて話が聞き取りづらい場面がありました。次回はレイアウトや音環境に配慮が必要です。

3. 活動の拡大

「たまには女子トークも良いが、建築業界の女性活躍について男性にも発信した方がいい」という本質的なご意見や、「関東でもやってほしい」といった他地域での開催を希望するお声、定期的な開催を求めるお声を多くいただいております。

(7) 総括と未来への展望

本イベントを通して、世代や職種という境界線を越えて響き合う「建築への情熱」が共有され、所期の目的であった「縦と横のつながりの創出」が十二分に達成されたことをご報告いたします。

参加者の方々が示してくださった「将来もっと挑戦したい」「自分にしかできない仕事をしたい」というエネルギーは、業界を変える大きな原動力となります。この素晴らしい熱量を一過性のイベントで終わらせてはなりません。

今後は、女性ならではの「高度な対話力」や「しなやかな課題解決能力」「異業種経験の掛け合わせの力」を、業界全体の戦略的競争優位性として定着させていく必要があります。世代を超えたメンタリング（相談・支援）の機会づくりや、職種の垣根を越えて連携できるネットワーク（交流の場）の構築、そして男性社員や経営層を巻き込んだ意識変革など、具体的なアクションを進めていくことが求められます。

今日集まった一人ひとりが「これからの建築をもっと面白くしていく仲間」であり、このつながりが団体の枠を越えて今後も大きく広がり続けていくことを強く確信しております。

これまでの歩みと、新しいひらめき。
出会うことで、未来を切り拓こう。

集まれば：無限大



あつまれ！ けんちく女子

「あつまれ！けんちく女子」は、建物づくりに関わる女性が職種や世代をこえて集まり、気軽につながれる交流イベントです。仕事への思いや経験をシェアしながら、横のつながり・縦のつながりを広げ、建築業界で働く私たちの“今”と“未来”を一緒に描いていきます。新しい出会いや気づきを楽しみに、ぜひご参加ください。

参加無料

定員 100名

第一部スケジュール(予定)

- 1 オープニング
- 2 世代別ビジョントーク
- 3 異世代クロスメンタリング
- 4 アクションプランタイム

2026.3/14(土)

(一社)大阪府建築士事務所協会設立50周年記念事業

1部 交流会

時間

13:30▶16:45

13:15 受付開始、13:30スタート

会場

マイドームおおさか 8階 第1+2会議室

大阪府大阪市中央区本町橋2-5

2部 懇親会

時間

18:00▶20:00

17:45 受付開始 18:00スタート

会場

Sheva(シェバ)

大阪府大阪市中央区本町橋4-8

定員
30~40名

参加費
6,000円

対象

大阪で建築に関わる全ての女性(設計・施工・インテリア・学生など)

お申し込み

右記URLまたはQRコードよりお申し込みください。 <https://forms.gle/gxwkHoNDVvKsrrNY8A>
(担当:大阪府建築士事務所協会 事務局 義本 TEL:06-6946-7065)



【主催】一般社団法人 大阪府建築士事務所協会 会勢会員サービス委員会女性部会

【共催】公益社団法人 大阪府建築士会 / 公益社団法人 日本建築家協会近畿支部 / 一般社団法人 日本建築協会 / 一般社団法人 日本建築学会近畿支部

【後援】大阪府 / 大阪市

※いただいた個人情報は、本イベントの運営・連絡および主催・共催団体からの関連情報提供のみに利用し、適切に管理いたします。

※当日は記録・広報用(各団体のHP、SNS、会報誌等への掲載)に撮影を行います。あらかじめご了承ください。

大阪府建築士事務所協会女性部会

「あつまれ！けんちく女子」を開催



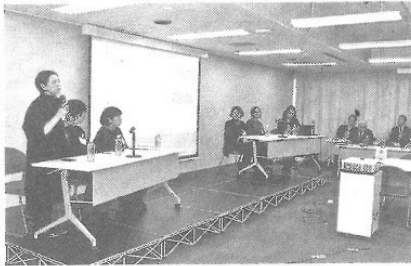
盛り上がった会場の様子

大阪府建築士事務所協会女性部会は3月14日、大阪府建築士会、日本建築家協会近畿支部、日本建築協会、日本建築学会近畿支部との共催で、建物づくりに関わる女性に向けたイベント、「あつまれ！けんちく女子」を開催した。大阪市内の会場には、研究者、会社員、学生やインテリアデザイナーなど多彩な分野で活躍している女性、約80人が参加した。開会に先立ち、イベント

会では、有識者らのパネルディスカッション、グループワークや発表会などを行った。普段の仕事の課題や、その取り組み方、各自が抱えている悩みなどを参加者らは共有し、会場は多岐に盛り上がりを見せた。参加者の一人である緑匠（大阪市中央区）の香山沙紀さんは、「緑化事業に携わっている。また、

また男社会の中で、このよ様な職業の枠を超えた建築女子の集まりは機会が少ない。次回の開催があれば、ぜひ参加したい」と、充実した一日を振り返った。同イベントは、大阪府建築士事務所協会の50周年事業の一環でもあり、2019年以来3回目の開催になる。

ルディスカッション「世代別ビジョントーク」が開かれ、ベテランや中堅、若手から5人が登壇した。建築に関わるきっかけや、キャリア形成、仕事の転機などをテーマに登壇者らが自身の体験を紹介。研究者や設計事務所勤務、個人事務所経営など多様な立場からキ



パネルディスカッション

大阪府建築士事務所協会（樋上雅博会長）は14日、設立50周年記念事業の一環として、女性部会による交流イベント「あつまれ！けんちく女子」を大阪市中央区のマイドームおおさかで開いた。建築設計のほか施工やインテリア、建材メーカー、教育機関など建築に関わる幅広い分野から約80人の女性職員が参加。世代や立場

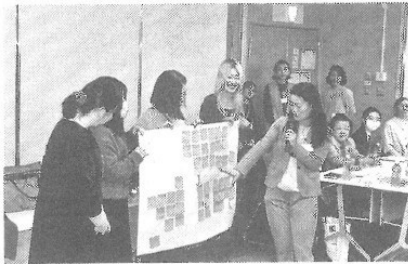
を越えて、仕事に対する思いや経験談などを語り合っ

大阪府建築士事務所協会50周年 建築女子、自由に語り合う

多様なキャリアモデル提示

て、つながりが広がれば幸いです」とあいさつ。樋上会長は「女性の活躍が一層進めば建築の将来はきっと明るい習得への意欲などが

参加者らは14グループに分かれ、それぞれテーブルごとに自己紹介を兼ねてPRポイントを発表。その後、清吾幸子理事の進行でパネ



グループでプレゼン

ケースンカ」「経験の生かし方」「今後の目標」などのテーマ別に、メモ書きを模造紙に貼ることでアイデアを可視化。最後に各グループでまとめた内容をプレゼンテーションした。清吾理事は「きょうの交流をきっかけに『一人じゃない』という思いを持って仕事と向き合ってほしい」と話した。

あつまれ！けんちく女子 世代、職種を超え交流

大阪事協

大阪府建築士事務所協会（樋上雅博会長）は14日、大阪市のマイドームおおさかでセミナー「あつまれ！けんちく女子」を開いた。設計事務所、建設会社、インテリア、メーカーなどから80人が参加。世代や職種の違いを超えて交流を深めた。

同協会設立50周年記念事業の一環で、日本建築協会、大阪府建築士会、日本建築家協会近畿支部、日本建築学会近畿支部と共催した。

主催者あいさつに立った同協会女性部会の小鮎弘美部長は、「建築の仕事の面白さを言葉にしたり、共有する機会は意外と少ない。世代や立



小鮎部長



パネルディスカッション

また来賓として出席した樋上会長も「まだまだ男性中心の建築の世界だが、もっと女性が進出し、活躍することは将来のために不可欠。前向きな議論を期待している」と祝辞を寄せた。

始めに「世代別ビジョントーク」と題するパネルディスカッションがあり、中嶋節子京大大学院教授、所千夏氏



グループごとにアクションプランを報告

（アトリエC.K）、石貫方子パナソニックハウジングソリューションズデザインセンターくらし・エンジンニアリングデザイン部長、高島純子氏（イロタス）、中村瑞江氏（AR設計）、清吾幸子氏（ブレンダ建築設計室）の6氏が、建築を志したきっかけなどについて語り合った。

その後、6人の小グループに分かれて、ワークショップが行われた。キャリア形成やワークライフバランスなどについて意見を出し合い、グループごとに「アクションプラン」をまとめた。

最後に全グループがアクションプランについて報告した。



小鮎弘美部会長 挨拶



樋上雅博会長 挨拶



世代別 VISION TALK



CROSS Generation MENTORING & ACTION PLAN Sheet Time



CROSS Generation MENTORING & ACTION PLAN Sheet Time



第2部 (懇親会)



集合写真

あつまれけんちく女子

二次会 懇親会



～テーブルごとに分かれて共通点探しゲーム！！
大盛り上がりの懇親会でした。

夜行バスでスキー
チーム



チーム
パンよりごはん派



チーム
SAKE



チーム
どうぶつ好き



チーム 家から近い
コンビニ
セブンイレブン



チーム
温泉好き30代



チーム 50代
お酒何でも来い！



チーム魚より
肉食女子



チーム
ビール好き



チーム
長女



チーム
旅行大好き



チーム
お肉大好き



「あつまれ！けんちく女子」 実行委員名簿

■ 一般社団法人 大阪府建築士事務所協会

小鮎 弘美（一級建築士事務所 Little fish 建築設計室）※実行委員長
清吾 幸子（有限会社プレング建築設計室）※実行副委員長
武内 美奈子（株式会社 安井建築設計事務所）
中嶋 佳子（三和建設株式会社 大阪本店一級建築士事務所）

■ 公益社団法人 大阪府建築士会

石貫 方子（パナソニックハウジングソリューションズ株式会社）
大野 治代（大手前大学）
曾我部 千鶴美（With 建築工房一級建築士事務所）
竹田 敦子（株式会社 竹田義建築）
田代 加奈（株式会社 環）
田端 寿美（T-CUBE）
春岡 須磨子（一級建築士事務所 春設計室）
山本 尚子（山本 尚・設計工房）

■ 公益社団法人 日本建築家協会近畿支部

所 千夏（アトリエCK）

■ 一般社団法人 日本建築学会近畿支部

中嶋 節子（京都大学）

■ 一般社団法人 日本建築協会

橋寺 知子（関西大学）

（敬称略）

－ 謝 辞 －

3月14日の本イベントにおきましては、多大なるご尽力と温かいご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

長期にわたる企画会議の積み重ねであり、皆様の枠を越えた見事なチームワークのおかげで、参加者が心を通わせる大盛況の会となりました。アンケートの満足度100%という結果も、皆様の献身的なサポートの賜物です。

私たちが目指した「縦と横のつながり」を生む「小さな実験場」は、見事に形となりました。ここで生まれた前向きな熱量を、未来の「けんちく女子」が輝く舞台づくりへ共につなげていければ幸いです。

すべての皆様に、心より御礼申し上げます。本当にお疲れ様でございました。

一般社団法人 大阪府建築士事務所協会 女性部会